

5月14日（火） お昼の放送 校長の話

みなさん、こんにちは。今日もアレをやります。みなさん、元気ですか！？元気があれば、あいさつもできる。

ところで、校長先生の今日の試合の結果をお知らせします。何の試合の結果か、よく聴いてください。試合ですから、勝ち負けがあります。今日の勝敗は、校長先生の5勝15敗でした。

この勝負、実は校長先生は勝つよりも負けた方がうれしい勝負です。さて、何の勝ち負けでしょうか。

校長先生が朝、正門に出て最初に出会う20人と決めて、あいさつを相手より先にしたかどうかの試合の結果です。

校長先生は「あかるく、いつでも、さきに、つづける」ことが、あいさつだとお話ししました。先にあいさつをしてくれる人が多いです。

あいさつをがんばれば、「あいさつカード」や「あいさつバッチ」、「あいさつマスター缶バッチ」がもらえたり、あいさつ名人になれば「あいさつワールドグランプリ、いわゆるIWGPのチャンピオンベルト」を身に付けて写真撮影したりすることができます。これらは、あいさつをすることの励みになります。

ただ、何のためにあいさつをするのか、考えましょう。あいさつを先にするとか、立ち止まってあいさつをするとか3つの「あ」のあいさつをすると、お互いに気持ちがいいです。何のためにあいさつをするのか、一言で言えば「みんなが気持ちの良い生活をするため」だと思います。逆に、あいさつをしても、あいさつを返してもくれなかったら、本当に嫌な気持ちになります。

「あいさつ名人」になれるようにトライ、挑戦して、あいさつでいっぱい、みんなが気持ち良く生活できる大竹小学校、そして大竹の地域にしていきたいと思います。

